

日光ケミカルズ

SDGsの観点から国内初のASD企業に
パーム油誘導体のサプライチェーンの透明性を追求

日光ケミカルズは、SDGs推進の観点から、国内初となるAction For Sustainable Derivativesの会員企業となり、同社が関わるパーム油の誘導体・パーム油由来製品のサプライチェーンの透明性を追求していく。

同社は、パーム油由来の製品を多数保有しているが、サプライチェーンの複雑な構造ゆえに、その生産過程における透明性を把握しきれずにいた。ASD会員メンバーが推進され、国内外の供給元である生産エリアを特定し、工場レベル、ただける製品を屈けることが可能になる(同社)



「情報」「データ」「ソリューション」の生成と共有を促進する企業間連携組織で、NDPE原則に準拠し、森林破壊を禁止し、人権を尊重することで、生産地の生活を支えることを目指している。

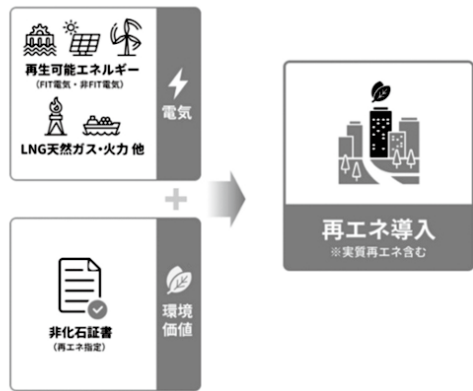
ポーラは、全国34カ所のエリア事業所により、国内事業所の約70%でCO2フリー電力を導入し、約36・4万kWh

ポーラ 国内全事業所で
CO2フリー電力を採用

（CO2排出量140t-CO2）の削減を実現する。残りの事業所に関する2029年までに順次、CO2フリー電力の導入を進めていく。同社は2029年まで

のサステナビリティゴールの1つに「未来に、次世代に環境をつなぐアクション」を掲げ、顧客への「新たな価値提供の実現」を前提としながら、同時に「環境に配慮した

エネグリーンは、電気と非化石証書の組み合わせで
再エネ導入を支援するサービス



サービス」を目指して様々な環境負荷低減の取り組みを行っている。

2021年にポーラ五反田本社ビル、袋井流通センター、ポーラ銀座ビルではすでにCO2フリー電力を導入しているが、今後、2029年に向けた目標として、全国41都道府県にある50カ所全ての事業所使用電力の低炭素化・CO2フリー化を目指す。

今回の取り組みはそのスタートと位置づけており、国内でポーラが単一で電力契約をしている全事業所(全国34カ所)のCO2フリー電力導入を実施した。なお、CO2フリー電力はエネットのエネグリーンを採用している。

花王 廃PETを原料に活用した
ニュートラックの新シリーズを発売

花王は、廃棄されるPET素材を原料に活用しつつ、積雪寒冷地の道路課題の解決・耐久性向上を実現するアスファルト改質剤「ニュートラック6000SMA」を2月より発売している。

既存の「ニュートラック5000」の耐久性を引き継ぎつつ、骨材へのアスファルト被膜を強く・厚くする剥離抵抗性能が向上した。水浸下での走行荷重試験では、通常の舗装に比べ、内部への水の侵入を防ぐ効果が2倍以上向上することを確認している。

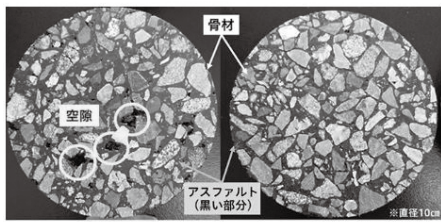


図 アスファルト舗装の内部の断面

TCFD提言に基づき情報を開示

ライオン

ライオンは、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に基づき情報開示を行った。

同社は、2019年5月にTCFD提言への賛同を表明し、同年10月、2020年1月にかけて、環境省「TCFDに沿った気候リスク・機会シナリオ分析支援事業」に参画して、気候関連のリスクと機会が同社事業



品群・サプライチェーンの面で分析範囲を拡大し、本格的なシナリオ分析を実施して、その結果をコーポレートサイトのサステナビリティページにて開示した。

「ニュートラック6000SMAは骨材とアスファルトの密着性を高めることで、舗装の空隙が少なくなるように施工してきた。

同社グループは、2050年をゴールとする長期環境目標「LION Eco Challenge 2050」を2019年に策定し、「脱炭素社会」と「資源循環型社会」の実現を目指し、脱炭素、プラスチック、水資源の課題解決に向け取り組んでいる。今後も気候変動のたらずリスクと機会に対する様々な取り組みに注力し、持続可能な社会への貢献と事業の発展の両立を目指していく。

マレーシアとインドの工場に太陽光発電を導入

ユニ・チャーム

ユニ・チャームは、マレーシアの現地法人製造子会社である「DSG (Malaysia) Sdn. Bhd.」のマレーシア工場と、インド現地法人である「Unicharm India Private Limited」のスリシティ工場にて、太陽光発電設備を導入した。これにより、マレーシア工場では年間218万kWh、スリシティ工場では年間863万kWhを発電し、CO2排出量を2つの工場合計で年間約8480トン削減する。同社グループの海外工場における再生可能電力の導入は、ブラジル、タイ、ベトナム、アメリカ、中国、インドネシアに続く7例目、8例目となる。なお、日本国内ではユニ・チャームの伊丹工場、埼玉工場、三重工場、ユニ・チャームプロダクツの九州工場、四国工場、ペーパーレットの静岡県内3つの工場を導入済みとなっている。このような取り組みにより、同社グループの工場から排出される二酸化炭素を年間約5万2480トン削減することができるといふ。